

(市民局)

事業名	事業費	説明
世界平和の創造への貢献	4,977万5千円 財源内訳 〔財産売却収入 378万円〕 一般財源 4,599万5千円	被爆体験の継承 2,418万4千円 被爆建物等保存・継承の推進 245万円 被爆樹木樹勢回復事業等 折り鶴の保存・展示 268万3千円 旧日本銀行広島支店2・3階を活用し、「原爆の子の像」に寄せられる折り鶴の展示を行う。 平和記念資料館展示整備等基本計画の策定 587万円 「広島平和記念資料館更新計画」を具体化するため、より詳細な展示整備等の基本計画を策定する。 被爆資料等収集の全国展開及び海外被爆資料の所在調査 348万4千円 資料収集の整理・データベース化を図るとともに、海外にある被爆資料の所在調査を進める。

事業名	事業費	説明
		<p> 図録「原爆の絵」の発行 720万円 平和記念資料館が所蔵する「原爆の絵」を図録として発行する。 </p> <p> 被爆者証言ビデオテープの制作 249万7千円 被爆者の映像や証言をビデオテープに記録し保存するとともに、これを貸し出し、被爆の実相を国内外に伝える。 </p> <p> 核兵器のない世界の実現に向けた取り組みの推進 1,795万9千円 </p> <p> 核兵器廃絶のための緊急行動の展開 397万1千円 (長崎市との共同事業) </p> <p> 国際司法裁判所勧告的意見10周年記念事業への出席 207万円 時期 18年7月 訪問先 オランダ、ベルギー 人員 2人 </p> <p> ワールド・ピース・フォーラムへの出席 81万5千円 時期 18年6月 訪問先 カナダ 人員 1人(長崎市) </p> <p> 国連総会第一委員会への特別委員会設置の要請活動等 108万6千円 </p>

事業名	事業費	説明
		<p>核兵器廃絶のための要請活動 463万9千円</p> <p>海外の主要都市を市長が訪問し、政府関係者との会談や平和集会等での講演により、核兵器廃絶の国際世論を喚起する。</p> <p>オセアニアにおける平和活動の推進 127万9千円</p> <p>時 期 18年5月</p> <p>訪問先 ニュージーランド</p> <p>人 員 2人</p> <p>北欧における平和活動の推進 336万円</p> <p>時 期 18年9月</p> <p>訪問先 ノルウェー、フィンランド</p> <p>人 員 2人</p> <p>ヒロシマ・ナガサキ原爆展の開催 284万9千円 (長崎市との共同事業)</p> <p>時 期 未定</p> <p>場 所 米国</p> <p>内 容 写真パネルの展示、被爆資料の展示、被爆体験の証言、ビデオの上映等</p>

事業名	事業費	説明
		<p>国際平和講演会の開催 387万7千円</p> <p>時期 18年7月</p> <p>場所 広島国際会議場</p>
		<p>「広島・長崎講座」設置協力プログラム (長崎市との共同事業) 7万8千円</p> <p>「広島・長崎講座」の設置を計画している大学へ教材の提供を行う。</p>
		<p>「広島・長崎講座」の開設 254万5千円</p> <p>「広島・長崎講座」の設置を計画しているパリ政治学院等へ講師を派遣する。</p>
		<p>平和の創造 663万7千円</p>
		<p>平和宣言の普及 243万8千円</p> <p>市長が日・英2か国語の平和宣言を読み上げる映像と音声のインターネットによる発信や解説書の作成等を行う。</p>
		<p>インターネットによる平和情報の発信 367万9千円</p> <p>平和記念資料館を中心に、原爆・平和に関する情報をインターネットを活用して世界に発信する。</p>
		<p>国内ジャーナリスト研修 52万円</p> <p>国内外の報道機関の記者に、被爆の実相や被爆地広島について学ぶ研修を受講してもらい、研修の成果を報道や論説を通じて広く発信してもらう。</p>

事業名	事業費	説明
		<p>市民が作り出す平和の推進 99万5千円</p> <p>キッズ平和スクールの開催 15万1千円</p> <p>時 期 18年7月</p> <p>対象者 市内小学校4～6年生</p> <p>場 所 平和記念資料館、似島</p> <p>内 容 平和記念資料館の見学、戦時中の食事体験等</p> <p>中・高校生ピースクラブの開催 25万2千円</p> <p>時 期 18年7月～19年1月</p> <p>対象者 市内中・高校生</p> <p>場 所 平和記念資料館等</p> <p>内 容 原爆被害の実相等の学習、グループによる研究・発表等</p> <p>ヒロシマ・ピースフォーラムの開催 59万2千円</p> <p>時 期 18年5月～6月</p> <p>対象者 18歳以上で市内に在住又は通勤・通学している人</p> <p>場 所 平和記念資料館等</p> <p>内 容 全6回の講座、被爆者・大学教授等による講演、グループ討議</p>

事業名	事業費	説明
国際交流の推進	1,856万7千円 財源内訳 〔 財産運用収入 373万1千円 〕 一般財源 1,483万6千円	多様な国際交流や国際協力の推進 1,156万7千円 ひろしま国際協力事業の推進 440万円 環境保全研修員の受入れ 367万3千円 人員 1人 期間 6か月 中古ゴミ収集車の寄贈 72万7千円 寄贈先 スリランカ 寄贈台数 1台 重慶市との友好都市提携20周年記念事業 419万4千円 代表団及び市民交流団の派遣 249万8千円 時期 18年10月 人員 5人(代表団) 内容 20周年記念行事参加等 代表団の受入れ 80万7千円 時期 18年5月 人員 8人 内容 20周年記念行事参加等 20周年記念行事の実施 88万9千円 時期 18年5月 場所 市内施設 内容 記念式典等

事業名	事業費	説明
		<p>大邱広域市への代表団の派遣 37万4千円</p> <p>時期 18年10月</p> <p>人員 2人</p> <p>内容 「カラフル大邱」への参加等</p>
		<p>「姉妹・友好都市の日」の開催及び「ヒロシマ・メッセンジャー」の運営 259万9千円</p>
		<p>「姉妹・友好都市の日」の開催 204万円</p> <p>姉妹・友好都市との友好を記念する日を中心として、市民参加型の交流行事を実施する。</p>
		<p>「ヒロシマ・メッセンジャー」の運営 55万9千円</p> <p>市民から公募した「ヒロシマ・メッセンジャー」による「姉妹・友好都市の日」の催事に係る企画・立案、進行及び市民レベルの姉妹・友好都市交流の支援</p>
		<p>国際交流基盤の整備</p>
		<p>国連訓練調査研究所（ユニタール）の研修プロジェクトに対する支援 700万円</p> <p>ユニタールが広島で開催するプロジェクト「紛争後の国々における復興」に要する経費の一部を支援する。</p>

事業名	事業費	説明
男女共同参画社会の形成	640万5千円 財源内訳 [国庫委託金 153万5千円] [一般財源 487万円]	<p>仕事と家庭の両立のための雇用環境づくり 38万円</p> <p>男女共同参画に積極的に取り組んでいる民間事業所の顕彰を行うとともに、ホームページによる取組み事例の情報提供を行う。</p> <p>DV防止・被害者支援対策 289万6千円</p> <p>DV専門相談等の実施 113万3千円</p> <p>DV被害者が安心して相談できるよう、NPO法人に電話相談業務を委託する。また、関係機関の連携を図り、支援の取組みを充実するための連絡会議を開催する。</p> <p>民間シェルター支援 120万円</p> <p>DV被害者保護の充実を図るため、市内の民間シェルターの活動に対して助成する。</p> <p>補助対象経費 建物の賃借料など</p> <p>補助額 対象経費の1/2 (60万円限度)</p> <p>DV防止啓発リーフレット等の作成 56万3千円</p>

事業名	事業費	説明
		<p>男女共同参画理解・実践事業 75万8千円</p> <p>男女共同参画に関する市民の取組みを促進するため、推進リーダーによる学習会等を行う。</p> <p>推進リーダーの活動支援 57万1千円</p> <p>地域で男女共同参画推進の活動を行う推進員の活動の一層の充実を図るため、フォローアップ研修等を実施する。</p> <p>⑧「日本女性会議2007ひろしま」開催準備 180万円</p> <p>主催 日本女性会議2007ひろしま実行委員会</p> <p>時期 平成19年10月</p> <p>開催場所 広島国際会議場ほか</p> <p>参加人数 約3,000人</p>

事業名	事業費	説明
豊かな文化環境の創造	2億5,782万3千円 財源内訳 〔 使用料 4,453万8千円 財産売払収入 379万2千円 寄附金 49万円 雑入 305万3千円 一般財源 2億595万円 〕	個性ある都市文化の形成 1億491万3千円 「第11回広島国際アニメーションフェスティバル」の開催 4,364万5千円 実施主体 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会 ⑨ 「ひろしま街じゅうアニメーションで賞」募集・表彰事業補助 30万円 アニメーションを題材にした市民手づくりのバナーやポスター、人形等の作品募集、審査・表彰を行う事業に対し補助を行う。 現代美術館特別展の開催 5,631万円 「山村浩二のアニメーション展」、 「ロシア現代美術展」等 「平和の夕べコンサート」の開催 415万円 時 期 18年8月6日 事業費 780万7千円 〔 (負担区分) 広島市 415万円 入場料収入等 365万7千円 〕 「広島市文化アドバイザー」の運営 50万8千円 広島と関わりがあり、世界的に活躍している芸術家等から、市の文化行政全般について、幅広く助言をいただく。

事業名	事業費	・説明
		<p>市民の芸術文化活動の振興 1億4,324万9千円</p> <p>旧日本銀行広島支店の保存・活用 2,604万5千円</p> <p>常時開館に係る管理運営経費等 2,289万5千円</p> <p>構造補強案の策定 315万円</p> <p>名誉市民による講演会の開催 59万7千円</p> <p>広島交響楽協会事業補助 1億1,000万円</p> <p>「音楽世界旅行」コンサートの開催 459万1千円</p> <p>よく知られていて聞き馴染みのある各国の音楽を紹介し、広響に馴染みの薄い市民にも親しみを持ってもらえる機会を提供する。</p> <p>(参考) 障害者と広島交響楽団とのジョイントコンサート (P71) 522万6千円 (再掲)</p> <p>大邱広域市への芸術団の派遣 201万6千円</p> <p>時 期 18年10月</p> <p>人 員 12人</p> <p>内 容 「カラフル大邱」への参加等</p>

事業名	事業費	説明
		<p>重慶市との友好都市提携20周年記念事業 966万1千円</p> <p>芸術団の派遣 824万9千円</p> <p>時期 18年10月</p> <p>人員 21人</p> <p>内容 20周年記念行事参加等</p> <p>芸術団の受入れ 141万2千円</p> <p>時期 18年5月</p> <p>人員 20人</p> <p>内容 20周年記念行事参加等</p>
<p>⑨ 文化創造センター等 (アステールプラザ)の 駐車場有料化</p>	<p>969万円</p> <p>財源内訳</p> <p>〔使用料 969万円〕</p>	<p>受益者負担の適正化を図り、自家用車から公共交通機関への転換を促す観点等から文化創造センター等(アステールプラザ)の駐車場を有料化する。</p> <p>有料化実施時期 18年10月</p>